

俯瞰メール第 2 世代 002 号

俯瞰メールⅡの最初のフェーズとして、混沌の中で先が見えないコロナ後の世界、今それを認識するために「コロナ後の世界 社会・ビジネス・政治」、「コロナ後の経済・産業・企業」、「G ゼロの世界 地経学で理解する新冷戦」、「コロナ後日本の処方箋」を視座とします。

そして、俯瞰サロンのご案内、俯瞰人の日常生活、俯瞰人の料理あれこれ、さらに私感・雑感としました。

時間のある方は記事の参考資料を読んでいただくと、俯瞰的な認識が深くなります。

またご意見、ご感想を頂けると励みになります。

11 月 21 日 俯瞰人 松島克守

◆ 時候のご挨拶 ◆

季節もまさに晩秋です。東京の真ん中ですが、マンションの北側に小さな森があり、季節の移り変わりを感じさせてくれます。紅葉も楽しめます。毎朝窓を開けると季節を感じます。小鳥の声も聞こえます。小さな森ですが、こんな森が東京の住宅地にたくさん増えると良い街になりますね。



目次

- p.2__1) コロナ後の世界
- p.4__2) コロナ後の企業・産業
- p.9__3) G ゼロの世界 地経学で理解する新冷戦
- p.11__4) コロナ後の日本 どう変わる、どう変える
- p.11__5) 俯瞰サロンのご案内
- p.13__6) ポートランドから特別寄稿
- p.16__7) 俯瞰人の日常生活 デジタル書斎、交流、食事、健康、……
- p.16__8) 俯瞰人の料理あれこれ
- P.17__9) 私感・雑感
- P.18__補完資料

◆ 1) コロナ後の世界 ◆

バイデン勝利でトランプ退場

長らくイライラとした不安定要因が確定してほっとしました。俯瞰的な認識からトランプ再選はないと思いつつも気になっていましたが、予想以上の大接戦で驚きました。4年間、あの乱暴で、でたらめな発言を繰り返してきたトランプ大統領を見てきても、まだ最後に7,100万票というトランプ氏の支持勢力の岩盤を見せつけられました。大多数が白人でしょうが、トランプ大統領時代に堂々と人種差別の本音をさらして政治の表舞台に出てきた勢力です。トランプ大統領が分断を作ったわけではなく、分断を表に出す、本音を行動に移していいという空気を作ったわけですね。大統領がそこまで言っているのだから、私たちも、俺たちもいいじゃないか、というノリだった気がします。

ですから、バイデン新大統領が分断の解消や融和を呼びかけても、この構造を変える事は出来ないでしょう。直接的な利害関係で、見せかけの統一を作るしかありません。

私は個人的に、この7,100万人の集団はアメリカ社会の大きな基層であると認識しています。太平洋戦争で日本人を強制収容所に押し込め、必要なかった原子爆弾を広島と長崎に投下した、そして80年代の激しい日本バッシングで見せた、白人優位主義、アジア人蔑視の価値観です。その勢力が、現在でも巨大な存在であることを改めて認識しました。

アメリカにとって長年にわたる日米同盟は、ソ連との冷戦、そして今や中国との新冷戦の戦略の1つの選択肢に他なりません。

今緊張が高まる台湾併合、尖閣列島占拠の最終的な場面でどこまでアメリカが支援するか、日米同盟に安住はできません。

といっても、トランプ大統領がぐちゃぐちゃにした国際関係、NATO諸国との関係改善、パリ議定書への復帰、WTOへの復帰、ロシアとの核軍縮、TPP復帰、もしかすればイラン核合意への復帰により、少し前の、ある程度穏やかだった国際情勢に戻る希望があります。

特に気候温暖化対策などは、巨大な炭酸ガス排出のアメリカと中国が協力して、これを経済成長の核として位置づけ、対策をとれば大きな進歩です。これに付随して、関連経済はヨーロッパ、日本、アジアにも影響を及ぼして成長をもたらす可能性があります。あくまで現段階では希望的観測ですが。

しかし、元に戻らない事もあります。アメリカと中国の新冷戦、貿易戦争は元には戻らないでしょう。特に中国に対する強い対決姿勢はむしろ民主党においても強い認識になっています。元はと言えば、中国に寛容な政策を容認し、北朝鮮に核開発と大陸間弾道ミサイルを開発する時間を「戦略的忍耐」と称して与えたのはオバマ政権です。当時の政権の幹部の多くはバイデン副大統領を含め

て、中国容認派でした。アメリカの現在の中国に対する共通認識から見て、この人たちが一部新政権に復帰することがあっても、元の政策に戻る事は許されないでしょう。中国がアメリカのすぐ後に迫り、分野によってはすでにアメリカの先を行っているという恐怖心は、かなりアメリカ人に浸透したと思います。

また、イスラエルを中心とした新しい中近東の地政学は、変わることはないでしょう。トランプ大統領がどこでどう貢献したかわかりませんが、イスラエルと中東の一部のアラブの国の国交回復は歴史的な第一歩です。この地域の安定のために極めて重大な一歩です。そしてこの地域で失われたアメリカの影響力と、この地域を地政学的に勢力圏に収めたロシアの存在も変わることはないでしょう。

この中近東の和平の動きが、シリアを中心とした各国の政治的な安定を昂進させれば、ヨーロッパ諸国の最大の懸念である難民問題も解決の方向に行きます。難民が帰国し各国が経済成長の道を歩けば、そこに新しい成長する市場が出現し、世界経済も回復が加速されます。この希望まだ早いと思いますが。

むしろ、バイデン後のアジア情勢は見えません。南シナ海と台湾、そして西太平洋における中国の進出は継続し、これに対抗するインド太平洋構想は、さらに強化されていくはずですが、その中国と日米の間で揺れ動く韓国の動きはノイズです。インドと中国の対立、アジア各国における中国の一帯一路の成り行きなども見えません。北朝鮮非核化の交渉も、スクラッチからの再出発でしょうか。ここでも韓国の文在寅（ムン・ジェイン）大統領は不安定要素でしかありません。

日本はこの中にあって、どう動くべきか誰もわからないでしょう。日本政府も、当分はアメリカ政治の情勢分析に集中するしかありません。

参考資料

トランプ氏が残した衝撃 アメリカは元には戻れない？

https://www.asahi.com/articles/ASNC9525DNC3UHBI01Y.html?ref=hiru_mail_topix1

バイデン氏政権移行に遅れ 4000人任命に支障—危機対応へ影響懸念

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2020111100992&g=int>

◆2) コロナ後の企業・産業◆

コロナ後の世界経済

順調に回復するかと思われた世界経済も、想定以上の最近の感染の急拡大で全く先が見えません。各国ともアクセルからブレーキへと足を踏み代えなければならなくなりました。アメリカ、ヨーロッパでは再びロックアウトです。

ただ、早い段階でコロナ危機を収束させた中国経済の復旧は目覚ましいものがあります。自動車を中心とした内需拡大が経済を牽引すると同時に、輸出入も順調に回復しています。

個人消費の回復が凄まじいです。11月11日の独身の日という不思議なネットセールスでは、アリババだけで8兆円の売り上げです。2位の京東集団（JD ドットコム）を足すと12兆円です。この巨大な中国の個人消費は、中国経済の力強い回復の何よりの証拠です。

この力強い中国経済を背景にしてASEANを中心としたアジア経済圏の中国経済圏への取り込みが進んでいます。

10年という長い時間がかかりましたが、11月15日にRCEP（東アジア地域違法かウテキ経済連携）は調印に至りました。RCEP経済圏は、世界の人口およびGDPの3分の1近くを占め、世界最大級の自由貿易協定となります。アメリカ大陸以外のTPP11加盟国、日本、オーストラリア、ニュージーランド、ベトナム、マレーシア、シンガポール、ブルネイが参加しており、TPP11には加盟していなかったASEAN諸国インドネシア、タイ、フィリピン、カンボジア、ラオス、ミャンマーとともに中国と韓国が加盟したので、結果、「提唱国であったASEAN10カ国+日中韓+オーストラリア・ニュージーランド」計15カ国の参加となりました。これは中国にとって、米中経済戦争に対する対抗戦略です。そして着々と実績を上げていくでしょう。中国の地経学的勝利です。

IMFとG20が警告、世界経済に回復腰折れリスクー感染再拡大で

<https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2020-11-19/QK15F2T1UM1701>

中国「独身の日」セール終了 アリババ、7兆円超え

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO66116690S0A111C2000000/>

中国「独身の日」ネットセール 12兆円 日本企業に恩恵

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO66168990S0A111C2EA1000/>

RCEP、15日署名へ 自動車など関税削減・撤廃

<https://www.asahi.com/articles/ASNCC7DLLNCCULFA015.html>

アジア太平洋諸国、RCEP署名ー世界最大級の自由貿易協定

[https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2020-11-](https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2020-11-15/QJTN8IT0G1L401#:~:text=%EF%BC%B2%EF%BC%A3%EF%BC%A5%EF%BC%)

[15/QJTN8IT0G1L401#:~:text=%EF%BC%B2%EF%BC%A3%EF%BC%A5%EF%BC%](https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2020-11-15/QJTN8IT0G1L401#:~:text=%EF%BC%B2%EF%BC%A3%EF%BC%A5%EF%BC%)

B0%E7%B5%8C%E6%B8%88%E5%9C%8F%E3%81%AF%E4%BA%BA%E5%8F%A3,%E3%81%A6%E3%81%93%E5%85%A5%E3%82%8C%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%AA%E3%81%8C%E3%82%8B%E3%81%A8%E3%81%97%E3%81%A6%E3%81%84%E3%82%8B%E3%80%82

中国の輸出、10 月は予想上回る伸びー輸入も前月に続き増加

<https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2020-11-07/QJEPFCT1UM0W01>

リーマンショックと新型コロナ 日米の鉱工業生産にどう影響？

<https://meti-journal.jp/p/12716-2/>

先進国の財政状況 コロナ対策で大幅悪化 世界経済のリスクに

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201118/k10012717881000.html>

産業構造は急速に変化している

産業構造は、コロナ危機以前から大きく変化しています。コロナ危機でこれが急加速する、顕在化することで改めて認識されたかもしれません。

わかりやすい例は小売業です。デパートを中心とした店舗販売はネット販売に大きくシフトしました。コロナ危機の外出自粛はこれを急加速しました。

先日、久しぶりにユニクロに買い物に行くと、店舗販売でも従来型の店舗とは全く違うことに改めて驚きました。まず驚いたのは価格です。モノによっては、40年くらい前の私の若い頃より半額くらいの価格になっています。細かいところに差異はあるでしょうが。この価格革命自体、従来のデパートビジネスを破壊するでしょう。カシヤのセーターの価格！定員は結構いますが、なぜか客にすり寄ってきません。キャッシャーは無人です。買ったものをざっとレジのボックスに入れば自動読み取りで支払い金額が表示されます。後はクレジットカードもしくは電子マネーで精算するだけです。デパートとは全く別の世界です。

今、産業構造の交代に興味を持っているのは、製造業の凋落です。最近よく時価総額ランキングが議論されますが、あれは産業の実態とまったく乖離しています。現在のこの経済状況でも株価は過去最高を更新している有様です。

ずっと以前からフォーチュンの売上ランキングが発表されています。

1998年の売上げのベストテンは、

General Motors
Ford Motor
Exxon Mobil
IBM
General Electric
Mobil
Chrysler
Texaco
DuPont
Altria Group
です。

20年後の2018年は、

Walmart
国家电网(ステートグリッド)
中国石油化工集団(シノペック)
中国石油天然気集団、
Royal Dutch Shell
トヨタ自動車
Volkswagen
BP
Exxon Mobil、
Berkshire Hathaway
です。

20世紀の初頭に創立され、世界経済を牽引してきたアメリカ製造業の凋落が強烈です。アメリカ経済はコロナ以前に製造業から、金融とITサービスが産業の主役となり世界経済を牽引してきたのです。

NY ダウ銘柄の変遷も産業の主役交代を見せつけます。GM、GE、AT&T、デュポンなどかつての名門企業が消えています。興味深いです。

俯瞰工学研究所：<https://www.fukan.jp/>の「俯瞰 MAIL II」の参考資料参照

今、私が注視しているのは自動車産業です。これは産業交代ではありません。大きな主役交代が見えてきました。業界の激震です。

これもコロナ以前からある動きですが、コロナ危機で一気にガソリン・ディーゼルエンジンから電気自動車へと急加速で産業構造が変化しています。各国はこれまでの計画を前倒しして 2030 年代にはガソリン・ディーゼル車の販売を禁止する、全面的に脱炭素の自動車に切り替えることを決めました。すでにテスラは、中国ですべての部品を調達し大きく発展しつつあります。ここは証券市場の軽薄さが出ますが、テスラの時価総額は既存の自動車会社の時価総額の総和を超えました。そして NY ダウ銘柄に取り入れられました。ある意味で自動車業界の主役交代を印象づけます。

特に中国は、この波に乗って、一気に世界における「EV 強国」として世界の自動車産業の主導権を握る野心を隠していません。コロナで停滞している海外の自動車産業にパラダイムシフトで取って代わる勢です。

ドイツの BMW、VW を中心に中国に生産拠点を持つ海外自動車企業は、中国の EV サプライチェーンを生かして EV の輸出拠点と位置付けて積極的な投資を進めています。

自動車産業、とりわけガソリン・ディーゼル車のサプライチェーンは極めて巨大で、これが一気に電気自動車のサプライチェーンに変わるわけですから、その影響は業界にとって衝撃的な変化となります。

日本の自動車業界は、トヨタ自動車ですら、どこまでこれについていけるかわからない状態で、かつては世界一の自動車産業を誇った日本は、一気にその地位を失います。この変化に対する動きは、欧米に比べてはるかに遅れています。新しい時代の流れにいつもついていけない、「現在・過去志向」の日本式経営の悲劇です。すでに電機産業、半導体産業で悲劇的な結果を目の当たりにしながら、変えられない、変わらない日本式経営のメンタリティです。これについては議論を深掘する必要がありますから、今後もその分析を続けていきます。

新型コロナが示した小売業の教訓

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO65108230W0A011C2EA1000/>

コロナ禍で明暗 2020 年上期の小売業販売

<https://meti-journal.jp/p/12631/>

ヨーロッパで電気自動車の売上とシェアが拡大中

<https://blog.evsmart.net/ev-news/electric-vehicle-sales-in-europe/>

各国のガソリン車禁止・ディーゼル車販売禁止の状況

<https://blog.evsmart.net/ev-news/global-petrol-gas-car-ban/>

中国新車、自動運転 5 割に 25 年国家目標 百度や滴滴、開発加速

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO66094540R11C20A1EA2000/>

中国、2035 年全て環境車に 通常のガソリン車は全廃

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO65519190X21C20A0MM8000/>

中国産 EV、輸出始動 テスラ・BMW まず欧州へ部材集積生かす

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO66521020R21C20A1MM8000/>

ついに日産とトヨタが EV・PHV の「世界トップ 10」から陥落

https://maonline.jp/articles/nissan_has_fallen_from_top

【ガソリン車廃止】なぜ中国も 2035 年？世界的な電動化、日本にどう影響 ハイブリット大国の悩み

<https://www.autocar.jp/post/588427>

テスラに抜かれたトヨタ、「世界一」と 12 位の差とは

https://www.asahi.com/articles/ASN727786N72UHB100S.html?iref=pc_rellink_02

さらに取り残される日本企業

かつて成功した企業ほど祖業から撤退ができません。先人に遠慮する気持ちはわかりますが、ビジネスは「いくさ場」です。このために企業全体の存亡が危うくなっている企業が、とりわけ名門企業が目につきます。

三菱重工は造船、タービン、航空機という祖業に近い中核事業が、すべて行き詰まっています。そこには現場に根を生やした「現在・過去を志向」があります。まず現場を重視し、自分たちがすべてわかっている、そしてその改善を続けるという日本の現場の強さと弱さが、時代に付いていけない企業文化です。参考資料にあげた三菱重工の事例は、広く日本の伝統的な製造業の問題点を浮き彫りにしています。

ニコンのケースもほとんど同じ事例です。長年の取引関係を大切にする、今日現在の売り上げを確保することに全力を尽くす。新しい世界を見ても見ないことにする、そんな企業風土でしょうか。

こうして時代に乗り遅れてきた日本製造業は、コロナ危機の「3 倍速の時代の変化」に取り残されていくことになるでしょう。

製造業そのものが、先進国では過去のものになっています。そこに未来の成長を議論する？

今私は製造業の基層である「機械工学の再定義」を議論しようとしています。大学の機械工学の学生が迷っていますから一緒に。機械工学という基層の知識の上に、IoT、AI、エッジコンピューティング、クラウドコンピューティングを統合する先端技術者を目指して研修します。

私が主宰する DMGMORI 先端技術研究センターに優秀な学生が集まってきました。現在のインターン生は来春入社内定者 6 名を含めて 14 名で、北大、東大、慶応大、早稲田大、お茶の水大の学生です。この人財と一緒に再定義された新しい製造業を目指しています。

DMGMORI 先端技術研究センター <http://www.etl-dmgmori.com/>

参考資料

三菱重工、旅客機開発凍結が物語る日本製造業の「ゲンバ」崩壊

<https://news.yahoo.co.jp/articles/032324ab632c6db1cb04f27244b7b7bbc59a9ad1>

ニコン、リストラ着手に潜む「Intel」リスク

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO66359780Y0A111C2I00000/>

中韓勢の攻勢にコロナが…サノヤスが祖業の造船から撤退

<https://news.yahoo.co.jp/articles/5d34f57eaae71ab67a6db5dfa45758e3dd8eb4e5>

川崎重工 二輪および鉄道事業を分社化 祖業の船舶はエネルギー・環境分野と統合へ

<https://trafficnews.jp/post/101457>

米 GE、電気照明事業を売却

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO59666630Y0A520C2000000/>

「カメラ事業売却」の衝撃 業務提携中のオリンパスとソニー、祖業を巡る両社の分岐点とは？

https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2008/07/news010_2.html

◆3) G ゼロの世界 地経学で理解する新冷戦◆

地政学の空白 アジアで勢力を拡大した中国

敗北を認めない、政権移行を拒否するという非常識なトランプ大統領の行動は、まさに G ゼロの世界をさらに不安定にしています。この力の空白は、中国、ロシア、イラン、北朝鮮など、これまでアメリカの覇権の下にあった国際ルールを変えるという点では、千載一遇のチャンスになります。

日本にとって、軍事的には台湾海峡、尖閣列島が注視されます。日本人はまだまだ安全保障について、あまりにも無邪気な平和主義を唱えています。ロシアによるクリミア半島の占領や、シリアを中心とした中近東における軍事力の展開は、アメリカが引いた力の空白をロシアが埋めました。

トルコのエルドアン大統領が仕掛けたアルメニアとアゼルバイジャンの紛争は、ロシアの仲介によってナゴルノ・カラバフのアルメニアの実効支配が認められ、ロシア軍が平和維持部隊を派遣するという状況になっています。力の空白、アメリカの退潮は、すぐに地政学的な変化を起こしています。日本人は、この事象を直視すべきです。

加えてトランプ大統領は、国際的な安全保障の不安定な状況を全く無視して、ひたすら自分の公約であるアフガニスタン、イラクからの撤兵を、任期切れ前に最後にやるようです。これについてはアメリカの軍部も強い危惧を持っていますが、まずうるさいエスパー国防長官を更迭するという乱暴な末期症状です。これ以外の「末期症状」が怖いですね。

一方、アジアでは米中経済戦争の中で、時間がかかったRCEPが調印されました。世界の経済の3分の1をカバーする巨大な自由貿易圏です。ここにおける中国の影響力を少しでも弱めるために日本は熱心にインドの加入を説得してきました、結局インド抜きで調印が成立しました。そしてAPECも中国主導で首脳会議が進みそうです。自ら主導したTPPを勝手に離脱し、今までASEANを無視してきたトランプ大統領も今回出席すると言われていますが、RECEPというアジア地域の経済連携は、巨大な中国市場を背景とした中国の強い影響力のもとにあり、いまさらアメリカが参加しても、遅れてきた国でしかありません。

本来、中国経済包囲網としてアメリカと日本が主導したTPPは、今や中国の経済戦略に組み込まれつつあります。習近平国家主席は、APEC首脳会議でTPP11参加を積極的に検討すると発言しました。

アジアにおける巨大な自由貿易圏を自分の影響力が強い状態で組織化した中国は、アメリカの中国経済を世界経済から分離孤立させるというカップリングに対する強い対抗策を確立したことになります。RCEPには「日本・中国・韓国」が参加しているので、中国から見れば事実上の日中韓 FTA（自由貿易協定）を締結したのに近い状態になります。バイデン政権になっても不可逆な地経学です。

この状況の中で、どれだけ日本が存在感を出すかが日本外交の正念場です。個人的にはTPP、RCEPともに、日本外交はアメリカ抜きでかなり主導的な存在感を出してきたと評価しています。

参考資料

【米大統領選 2020】バイデン氏の勝利は世界にとって何を意味するのか

<https://www.bbc.com/japanese/features-and-analysis-54858256>

なぜプーチンはバイデン勝利に沈黙を守っているのか

<https://news.yahoo.co.jp/articles/98d28837981de39a35db8b793d674283f289283b?page=1>

要警戒、米政権移行の停滞につけ込む「敵対諸国」の思惑

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b51755a1a10fb22daa444653a26f062631fdc128>

菅政権、NSCを初開催＝米移行期の安保空白を警戒

<https://www.nippon.com/ja/news/yjj2020111901102/>

RCEPは「中国のクーデター」と危機感を強めるアメリカ、世界貿易の欧米離れを止められるか

<https://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2020/11/rcep-1.php>

RCEPとTPPをめぐり日米中印がはじく皮算用

<https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00179/111900029/>

習氏、TPP 参加「積極的に検討」 APEC 首脳会議

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO66467330Q0A121C2MM8000/>

◆4) コロナ後の日本 どう変わる、どう変える◆

残念ながらこれについて議論するには早すぎます。今後の世界の感染状況も全く見えません。効果が90%以上というワクチンが2つ完成したという、希望を持てるニュースもありますが、相当数の人がワクチンを接種し社会的な免疫が確立されるにはかなり時間が掛かるでしょう。

日本においても、なんとなくうまくやってきたという感じでしたが、ここに来て想定以上の急激な感染拡大です。どこで感染しているのか全く不明です。ですから重症者を増やさない、医療崩壊をさせないという守りの体制を強化するしかありません。

日本政府もこれまで特段の政策を実行していませんし、アクセルとブレーキという難しい舵取りもここでGOTOプログラムをどうするかという議論になりました。どうも欧米ではアクセルが少し踏まれると人々の行動は急加速する社会現象が見えますが、日本の場合はこれも限定的で、自粛、自粛でコロナに感染しない、人を感染させないという社会的な行動が欧米に比べて行き届いているのでしょうか。

いずれにしてももう少し時間が経って、特にオリンピック前とそれ以降が見えないと、議論になりません。悲観はしていませんが。

◆5) 俯瞰サロンのご案内◆

第 79 回俯瞰サロン（Zoom によるオンライン開催）
12 月 5 日（土）18:30～20:30

船戸崇史さんに聞く

『がんが消えていく生き方～外科医ががん発症から 13 年たって初めて書ける克服法』

お申込サイト：<https://fukan79.peatix.com/view>

今秋、上梓された『[がんが消えていく生き方](#)』（ユサブル刊）が、amazon の“がん予防”分野でベストセラーとされている船戸崇史さんにご登壇いただきます。

船戸さんは、西洋医学を中心に東洋医学や補完代替医療も取り入れ、全人的な治療、診察を行うとともに、開院当初から末期がん患者を中心とした在宅医療にも力を注がれています。また 2018



年には、日本発の「がん予防滞在型リトリート リボーン洞戸」を開設。新しいアプローチで再発転移の予防に尽力されています。

ご自身ががんになられてから 13 年の間に実践された治療と再発を防ぐための方法、がんと生き方の関係について、がんと共に生きる人だけでなく、皆さんと一緒にうかがいたいと思います。

・ご参考：HEALTH PRESS 2020.11.13

「Amazon のがん・腫瘍ランキングで 1 位 <がんが消えていく生き方> とは？」

<http://healthpress.jp/2020/11/post-4026.html?fbclid=IwAR3bcnqxICei3Q6cmEj6uN-JEii7F1AHZrZeuT0gc0WP2vcEZ4yYRjZabBs>

<船戸崇史（ふなとたかし）さんご紹介>

1959 年岐阜県生まれ。愛知県医科大学医学部卒業後、岐阜大学第一外科に入局。数々の病院で消化器腫瘍外科を専門に従事。しかし「がんには自分のメスでは勝てない」と、根本的な治療を目指して 1994 年岐阜県養老町に船戸クリニックを開業。

船戸クリニック：<https://www.funacli.jp/>

リボーン洞戸：<https://www.reborn-h.jp/>

<記>

■日時：12月5日（土） 18:30～20:30（開場：18:20）

■参加費用：500 円（税込）

■お申込サイト：<https://fukan79.peatix.com/view>

■開催 URL のお知らせ：

お申込後に Peatix から自動送信される『お申し込み詳細』のメールに記載していますので、当日まで保管してください。

・コンビニ・ATM 払いの場合、お支払い完了後、5 分程度で『お申込み詳細メール』が配信されます。

・クレジットカード払いの場合、稀にお支払い完了まで 1 時間程度お時間がかかる場合があります。お支払い完了後メールが配信されます。

・電波状況等によっては、メールの遅延や未着が発生する可能性があります。お申込み詳細メールが届かない場合は、Peatix アプリまたは、パソコンの「マイチケット」も合わせてご確認ください。チケットの確認方法をご参照ください。

・「@peatix.com」からのメールが受信出来る様設定してください。

※サロンの開催中止以外、事務処理等の都合上、参加費の返金はいりません。

申し訳ございませんが、よろしくご了承ください。

※録画と公開について

Zoom の機能を使って録画し公開を予定しています。

映像を残したくない方は、ビデオカメラのアイコンをクリックして映像をオフにしてご参加ください。

※事前に Zoom の利用確認を行ってください。 <https://zoom.us/test>

<1 月の俯瞰サロン>

第 80 回を迎える 1 月の俯瞰サロンは、所長の松島が登壇予定です。コロナ禍の状況にもよりますが、リアルとネットのハイブリッド開催も検討しています。ご意見いただければ幸いです。

◆6) ポートランドから特別寄稿

米国ポートランド在住の友人、谷田部勝さんの私宛のメールをご本人の許可を頂いて転載します。現地の生情報です。

当地アメリカでは大統領選挙を 11 月 3 日に控え、マスコミはバイデン、トランプの言動を追い、報道して居ります。場所（州）によっては、既に事前投票が始まって居り、昨日（10/19）の時点で既に全米で

2 千 7 百万人が投票を終えて居ります。今回は異常に多くの有権者が正式投票日である 11 月 3 日を待たずに投票に参加して居ります。

私達夫婦も 10/17(土) に投票用紙を書き込み、翌 10/18 (日) に、マルトノマ郡選挙管理委員会が設置した鉄製の頑丈な投票箱に投函して来ました。

そうしたら、昨日、10/19 (月) に、早速「貴殿の投票用紙受領！」との知らせが郡選挙管理委員会から E メールで送信されて来たのです。

【オレゴン州は全米で最も早く、20 年前から全ての選挙を Vote by Mail（郵便投票）で行って参りました。よって他の多くの州のように投票所は存在しませんので、投票所へ行き、Social Distance を保ちながら、場合によっては雨降る中、5 時間も順番待ちで並ぶ必要は在りません。】
今でも毎日 7 万人の

新規コロナ感染者を出している米国ですので「郵便投票」はとても賢い選挙方法だと思います。脳無し、嘘つきトランプは「不正が起こり易い！」と反対論を展開、選挙結果によっては「最高裁に持ち込む！」等と意気込んで居りますが・・・。

こちらで、TV Japan 局経由、日本のニュース番組等を見て居て、アメリカの選挙に関するレポートは不十分・・・と云うか、情報が断片的で見て居て苛立つ時が頻繁です。特にアメリカの（大統領）選挙に関して、日本の一般の方達にご理解頂くのはほぼ不可能かもしれません。特に、今回、多数の州で取り入れている Vote by Mail（郵便投票）という選挙方法等。そこで私達夫婦にマルトノマ郡及びオレゴン州選挙管理委員会から前もって送られて来た Voters' Pamphlet と投票用紙等を貴所宛てに送らせて頂きます。当地の選挙方法を少しでも、ご理解頂ければ幸甚に存じます。多少時間が掛かるかもしれませんが、楽しみにお待ち下さい。

ポートランドより、谷田部 勝

谷田部さん

貴重な資料を有難うございました。

コロナであまり事務所に行かないので入手が数日遅れてしまいました。

バイデン勝利は想定内でしたが、激しい接戦は想定外で、改めてアメリカを再認識しました。

お聞きしようとしていた質問があります。

あの平穏なポートランドでなぜ暴動が起こったのでしょうか。誰がどう仕掛けてあつたのか？

松島

ポートランドでの暴動ですが、全米のニュースにもなり、特にオレゴン州のブラウン女性州知事及び、ポートランドのホイラー市長が民主党員である事から、トランプの選挙運動スローガンの一環である「法と秩序」優先の一例として、当地の「警察が甘い・・・」とトランプが（オレゴン州知事とポートランド市長が固辞したにも関わらず）国家警備隊を派遣、それがマスコミに載せられ利用されたりした事は事実ですし、残念な事です。ミネアポリスで黒人ジョージ・フロイドが警官に膝で首を圧迫されて死亡に至った画面が全米のニュースで取り上げられ、各地で起こったBLM(Black Lives Matter/黒人の命も大切)運動に同調した人達によるデモンストレーションでしたが、エスカレート、それも全くデモの主旨に関係無い少数の悪者たち（多くが非黒人）が商店街破壊に走ったり、他州からやって来たトランプ支持の極右白人至上主義の暴漢達が混入、大変でした。ポートランド市内在住黒人は6%しか居ませんし、オレゴン州内では黒人はたった2%ですので歴史的にも人種問題はそれ程大きな問題では無い当地です。よってデモに参加した人達の多くは白人でしたし・・・。
今後の「警察の在り方」がこれを機会に全米で議論されて居る事は確かです。

アメリカの大統領選挙ですが、97%開票が終わった昨日（11/13）の段階でバイデンが選挙人306人を獲得、（トランプが232人）バイデンの次期大統領当選が確定致しました。「選挙人306人」・・・というのは前回2016年の大統領選挙でヒラリー・クリントン候補を相手に戦った共和党のトランプが獲得、「地滑り的大勝！」と勝利宣言した時と全く同じでしたが、今回は前回と真逆でトランプが敗者になったのです。個人票に於いてもバイデンはトランプより532万票多くの票を獲得、完勝でした。【前回はヒラリー・クリントン夫人が300万票以上トランプより多くの国民個人票を獲得したにも拘らず、奴隷制度時代の遺物「選挙人制度」方式により敗者となってしまったのです。ヒラリーは過去の大統領選挙での敗者同様、敗戦が決定した段階で、勝者トランプに直接架電、勝利を祝福したのです。】

ところが、今回11月7日の時点で激戦州の一つであるペンシルベニア州の選挙人20人がバイデンへ流れる事が決まった段階で、総選挙人の過半数である270人を上回る276人をバイデンが獲得する事が決定、バイデンの当選、トランプの落選が事実上確定したのでした。しかし、トランプは「郵便投票等の“事前投票”で幾つかの州に於いて不正が在った！」等と、弁護士団を形成、いちゃもんを付けてあちこちで裁判を起こしたり、個人票の数え直しを要求、「バイデン当選」を覆そうとして

いるのです（現在も）。しかし、本日現在、14 件の起訴状が各地の裁判所により「証拠不在！
又は証拠不十分！」と却下され、トランプの弁護士団も自ら裁判を取り下げたり、意気消沈気味で
す。票の数え直しも幾つかの州で行われましたが、何票かの微調整は在ったものの、勝敗を覆すには
程遠いばかりか、州によっては逆にバイデン票が加算されたケースも出て来て居ります。

今回の大統領選挙の分析：

正式投票日の 11 月 3 日に投票所に出かけて投票した有権者は全米各地で 5 千 8 百万人。そ
れに比べ、コロナ禍中でもあり、オレゴン方式「郵便投票」で投票を済ませた有権者は全米で 6 千
5 百万人。更に、何らかの理由で 11 月 3 日以前に投票所に出かけ、事前投票を済ませた有権
者は 4 千万人でした。という事は、郵便投票を含め、事前投票を行った有権者総数は 1 億 5 百
万人。【注：郵便投票を含む、“事前投票”を行った有権者の過半数は民主党／バイデン・ハリス
支持者達。】「郵便投票反対！」を叫んでいたトランプは、支持者達に「当日、投票所での投票」を
促して居りました。幾つかの州では、事前投票された票の開票は、11 月 4 日以降となり、先ずは
11 月 3 日に投票された分から優先的に即日開票となったのです。このような背景の下、投票完了
後、即開票となり、初期段階では先ず「トランプ優勢！」となり、その日の深夜過ぎにトランプは「勝
利宣言！」スピーチまで行ったのです。ところが、翌朝から順次、郵便投票を含む「事前投票」された
1 億 5 百万票の開票が始まり、バイデン票が
どんどん伸びて、逆にトランプが伸び悩み、遂に
バイデン票があちこちの州でトランプ票を上回り
" 選挙人獲得 " を重ねて行ったのです。そし
て 11 月 7 日にペンシルベニア州の選挙人
20 人がバイデンに行く事が決まった段階でバ
イデンが選挙人総数の過半数獲得が決定、
" 当選 " が決まったのです。（写真は、11 月
7 日のバイデン大統領・ハリス副大統領誕生が
確定した段階で玄関先に星条旗を掲げて家内ア
リスと祝い、自撮りしたものです）



単なる TV タレントから一気に大統領になった " ど素人 " 政治家、口から出まかせのトランプは選挙
結果が確定して 1 週間以上経過した本日（11 月 14 日）現在、未だ " 敗戦 " を受け入れず、
従来なら、即日、次期大統領との「引継ぎ作業」に入るのですが、それが行われず、日に日に国民
の間で心配と批判が高まって居ります。米国の安全保障に関わる「大統領引継ぎ作業」が滞る・・・
という歴史に残るトランプの無責任さに皆呆れ、怒って居るのが現状です。今の所、懸念された過激
派による選挙後の暴動等は起こって居りませんが、米国民皆が Peaceful & Smooth
Transfer of Power！を望んで居ります。

バイデン・ハリスチームに導かれた米国はパリ協定に再加入したり、WHO（世界保健機構）にも戻るでしょうし、近い将来、地球上で各国から尊敬されるリーダー国に戻る事を念じ、信じ、期待して居ります。

ポートランドより 谷田部 勝

<https://www.us-jconnect.com/english>

参考資料：

トランプ氏 敗北はオウンゴール? ジョージア州務長官

<https://www.mashupreporter.com/raffensperger-says-trumps-lost-in-georgia-because-of-his-message-over-mail-in-vote/>

◆7) 俯瞰人の日常生活 デジタル書斎、交流、食事、健康、……◆

夏からの書斎、知的生産技術、オーディオのデジタル技術の更新がまだ終わりません。詳細は次回紹介します。

「自粛を自縮にしない」ため 12 月から積極的に会食を復活しようとしていましたが、またコロナの勢いがぶり返ってきてどうするか。

参加者全員 PCR 検査を受けて陰性証明書を持って参加する新入社員歓迎会を企画しましたが、事態が深刻化しているので自粛しました。元々の趣旨は「自粛」がややもすると「自縮」になりつつありますので、意識改革のための企画でしたが。検査費用一人 1 万円は社費で。

◆8) 俯瞰人の料理あれこれ◆

10月のある日、何故か気分が高揚してコースメニューを作り始めました。

まずプレリードとして、卵牛乳そしてダシで作るフラン、すなわちフレンチ風茶碗蒸しです。これにイクラの醤油漬けをトッピングしたものを用意しました。これは恵比寿の立ち飲みのワインバーで出されたメニューの1つですが、美味しかったので再現しました。茶碗蒸しも難しいですが、フレンチ風フランはかなり難しい料理です。

協奏曲風に行くと、次は第1楽章です。生ダラのトムヤムクン風スープをつくりました。トムヤムクンは時々作りますが、この日は生ダラの切り身作りました。トムヤムクンスープはタイの香辛料を使った辛くて酸っぱいスープです。

次の第 2 楽章は、美味しいと素直に味わえるものを考えました。まず「ヤンソンの誘惑」です。スウェーデンの名物料理で、炒めた玉ねぎと千切りじゃがいも、アンチョビを混ぜて生クリームをたっぷり入れたオープン料理です。この組み合わせは絶妙です。

加えて魚屋に甘エビがありましたので、この唐揚げを作りました。もともと生食用ですから、さっと揚げて唐揚げを作りました。甘みが残りまして絶妙です。

次はメインの第 3 楽章です。肉料理ですが、冷蔵庫で塩漬けにしておいた豚の約 500 g 肩ロース塊を 6 個に切り分けて、日本酒をふりかけて少し置き、片栗粉をまぶして油で揚げます。これを黒酢のあんで絡めた北京風酢豚です。肉以外の材料は入れません。北京料理研究家のウー・ウェインさんのレシピです。

最後の第 4 楽章は、栗と生シイタケの炊き込みご飯です。

以上かなりのコースです。2 人とも完食して満足です。なぜこの日、こんなに料理に対して高揚していたか分かりません。滅多にない日です。

詳しいレシピは俯瞰研究所のサイトの「俯瞰の料理 II 002 」をご覧ください。

◆9) 私感・雑感◆

ともかく狂気のトランプ政権が終わります。最後に何をするかわかりませんが。選挙結果は想定内でしたが、大接戦は想定外です。あのクレージーなトランプの言動を 4 年間見ても 7100 万人が彼を選択した事実は、これまでの私のアメリカに関する認識を覆すものです。このアメリカとこれからも付き合っていかなければならないと思うと、晴れやかに選挙結果を受け止められません。

「モリカケ」で終始した安倍内閣時の野党の国会論戦を、菅内閣では「学術会議」で終始する野党を見るとは情けない。他に議論することがあるだろうに。これが立民の枝野のリーダーシップの限界か。あの 3.11 という未曾有の国難にこの人物が官房長官だった？

学術会議の人事、大学の総長選、教員公募・・・、学界も学問の自由を守るには大改革が必要ですが。「学」の本質がわからない内閣や国会のお世話になるとは情けない。

補完資料：記事のレシピ

フ란のレシピ

これはかなり厳密なレシピが必要です。試行錯誤でたどり着いたレシピです。あくまで面倒な蒸し器を使わずに電子レンジだけで。

< 2 人前 >

卵 1 個を解きほぐす。200 cc 以上はいる計量カップに入れると卵汁は 50 cc 位になるはず。これに牛乳大さじ 4 杯、生クリーム大さじ 2 杯、これに鶏ガラスープを加えて全体で 180-190 cc にする。塩で味を調える。

100 cc 以上入る小さめの電子レンジ使用可の器に 2 分して入れる。小さなココットがあればいいですが、ここではエスプレ用の小型のコーヒーカップを使いました。

電子レンジで 200W、12-14 分加熱します。

冷やしてからイクラの醤油漬けをトッピングしてサーブする。

タラのトムヤムクン

エビでトムヤムクンを本格的に作るにはエビの殻からスープを作りますが、手間がかかります。最近では質の良い顆粒状のスープの素が売られています。私のキッチンには、鶏ガラスープの素、貝柱スープの素、エビスープの素、あごだしのスープを買い揃えています。加えてフレンチのフォンドボー、フュメドポアソン、グラスドビアンドと言うスープの素を常備してあります。さらに無添加コンソメの素と言うスープも用意してあります。

さてどれを使うか、最初はトリガラスープの素と貝柱スープの素、エビスープの素のスープを考えましたが、ふと気が変わってフレンチのフュメドポアソンすなわちフレンチ風フィッシュスープの素で作りました。これにレモンの絞り汁と赤唐辛子 1 本、生姜の薄切り、コブミカンの葉、レモングラスも入れて酸っぱくて辛いスープを仕立てました。赤唐辛子をまともに砕くと辛すぎるので、辛さはタバスコで調整します。レモンの代わりにライムを使うと香りが本格的になります。

トムヤムクンの代表的なハーブである「レモングラス」「バイマックルー」「カー」は乾燥したものが市販されています。拙宅では、レモングラス、バイマックルー（こぶみかんの葉）はベランダで、鉢で育てています。「カー」はショウガで代用です。麻布の日進ではトムヤムクンの香辛料の生のセットが販売されています。

さらにトムヤムクンではフクロタケというキノコも入れるレシピがありますが、ここではシメジを入れました。マッシュルームでも、シイタケでもいいでしょう。また普通バクチーの葉を入れますが今回は省略です。何でも揃えようとすると料理を作るのが億劫になりますから、なければならないものであるもので作ります。

生タラの切り身は皮と骨を取り 4 つほどに切り分けます。結果的にはバラバラになります。さっと火を通して出来上がりです。

ヤンソンの誘惑

ネット上にたくさんのレシピが公開されています。下記が標準かもしれません。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A4%E3%83%B3%E3%82%BD%E3%83%B3%E3%81%AE%E8%AA%98%E6%83%91>

今回 2 人前ですから、以下のように簡略化しています。

中くらいの大きさの玉葱をスライスしてバターで透明になるまで炒めます。中くらいのメイクイーンのジャガイモ 1 個は 5 ミリ角程度に千切りにします。これを水でさらすレシピがありますが、ここではさらしません。アンチョビはフィレ 3-5 枚をみじん切りにし、バターを塗った小さめのグラタン皿の中でざっとまで混ぜます。層に分けて重ねるレシピが多いですが、少量ですので全体を混ぜるだけにしました。生クリームをひたひたに入れます。

表面を均してパン粉をふりかけます。バターの小さな角切りを表面にいくつかおきます。オーブンで 30-40 分くらい、ジャガイモが柔らかくなるまで加熱します。

北京風酢豚

豚肉に塩胡椒、酒を振ってしばらくおきます。片栗粉をまぶして、中火でじっくり火を通し焦げ色がつくまであげます。

中華鍋で、黒酢大さじ 2 杯、しょうゆ大さじ 1 杯、はちみつ大さじ 1 杯、ごま油小さじ 1 杯を火にかけ、とろみがついたら揚げた肉を入れて絡ませます。

生シイタケの炊き込みご飯

このレシピは紹介する必要もないでしょう。

=====

俯瞰 MAIL 第 2 世代 002 号 (2020 年 11 月 21 日)

編集：俯瞰人 (松島克守)

発行：一般社団法人俯瞰工学研究所

配信：石川公子

内容・記事に関するご意見・お問い合わせ/配信解除・メールアドレス変更は下記まで

Mail: info@fukan.jp

URL : <https://www.fukan.jp/>